

レース開始合図で一斉にスタートするヨット(28日午前11時、  
大津市柳が崎沖の琵琶湖)＝撮影・木原貞男



## 輝く帆 湖風操る SAIL おおつ

ヨットレース大会「第13回SAIL おおつ」(京都新聞社主催)が28日、大津市柳が崎沖の琵琶湖で行われた。強い日差しの下、光り輝く湖面に白い帆が立ち並び、セーラーたちの熱戦が繰り広げられた。(23面に関連記事)

大会は、1973年に始まった「ピワコ・カインド・レガッタ」を継承し、大津市制百年を記念して1998年から開催。あらゆる種類のヨットが参加できるのが特徴で、参加者は艇種ごとにハンディをつけた総合成績で順位を争う。

一般の部と中学生以下のオプチミスト(OP)の部あわせて68艇98人が参加。参加者は、風を巧みに読みながら、帆や船体の傾きを操り、沖合に浮かぶ三方所のフィを回る約6キロのコースを疾走した。

一般の部は兵庫県芦屋市の吉岡卓さん(40)と守山市の西口毅さん(37)のペア、OPの部は皇子山中2年の吉永風人君(14) 大津市比叡平 〓がそれぞれ優勝した。(田代真也)